

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（9月定例会）会議録
開催日時	令和3年9月24日（金）午後2時から午後3時30分まで
開催場所	田無第二庁舎2階 会議室 ※高橋議長、宮本委員を除く委員はリモートでの参加
出席者	委員：高橋議長、河野副議長、伊尻委員、勝野委員、川原委員、黒羽委員 小松委員、坂内委員、菅野委員、攝賀委員、長谷川委員、松本委員、宮本委員 事務局：和田社会教育課長、江藤課長補佐兼社会教育係長、野田主事
議題	議 事 （1）活動内容について （3）その他
配付資料	資料1 社会教育委員の会議（8月定例会）会議録（案） 資料2 今期（R3年7月～R5年6月）の提言テーマ（案）一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

●令和3年8月の定例会議の会議録（案）について、承認する。

議事（1）活動内容について

○議長：まずは事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：下記のとおり説明

- ・「今期の提言テーマ（案）一覧」（配布資料）を用いて前回発表していただいた提言のテーマを説明。
- ・定例会で審議していただいた内容を令和5年3月末までに提言として提出いただきたい。
- ・提言のテーマは次回の10月定例会までに決定したい。

○議長：事務局から前回の定例会で委員の皆様から発表していただいたテーマ案について説明していただいたが、前回欠席された委員から意見等あるか。

○委員：現在、地域学校協働活動を進めていくなかで、課題が出てきているので、社会教育委員の会議で適宜助言をいただきながら、モデル校の検証を提言テーマとして議論をしていきたい。課題としては、地域活動が既に活発に行われている地域では学校と地域を上手くつないでいけると考えるが、学校によっては地域学校協働活動をどうスタートしたらよいかをまず整理していく必要があることや、地域人材の集め方についてである。

○委員：学校施設開放運営協議会との関わりの中で、コロナ禍の中でどのように活動を進めていくか、放課後子供教室のサポーターをどのように集めるのかなどの課題が見えてきた。このような課題も地域学校協働活動の内容に盛り込んで提言として議論していきたいと考える。

○議長：全委員からの意見が揃ったという事で、これから今期の提言テーマについて意見の交換をしていきたい。追加での説明や意見等はないか。

○委員：先程意見があった、地域活動が少ない学校の地域学校協働活動の進め方についてだが、現状

としては地域活動が少ない学校の方が多いと考える。だからこそまずは、モデル校でいかに推進できるかが重要になると考える。

ただ、既に地域学校協働活動について提言を提出しているので、事務局の意見も伺いたい。

- 事務局：今期のテーマを地域学校協働活動に関するテーマにする場合であっても、別のテーマにする場合であっても、必須としてモデル校の検証結果はいただきたい。理由としては、モデル校の校長や地域学校協働活動推進員が委員にいることから、モデル校での課題を踏まえての議論を行うことで、よりよい推進策を練ることができると思うからである。
- 議長：前回の会議で地域学校協働活動以外の意見もあったが、それらについて考えや意見はあるか。
- 委員：「オンライン社会に生きる子供を大人がどう支えていくか」というテーマに関しても、非常に重要なテーマであると思う。オンライン授業においても、父兄からの意見をどの程度吸い上げて、授業に反映させていくのか、子どもたちの意見をどのように反映させて変化させていくか、現在行われているオンライン授業の課題等を議論していくとGIGAスクール構想の更なる展開に効果を発揮すると思う。
- 委員：「持続可能な地域社会の形成に向けた社会教育の在り方」というテーマでほとんどのテーマを網羅できるのではと思う。人づくり、地域づくりも今年度、来年度だけの話ではなく、継続していかないといけない仕組みづくりである。最終的には、持続可能な地域社会の形成が大きなテーマになってくると考える。
- 委員：地域学校協働活動の深堀がスタート地点なのかもしれないが、目指すべきなのは持続可能な地域社会の形成だと思う。人づくり、地域づくりに焦点を当てて、持続可能な地域社会の形成という目指すべき目標を持って地域学校協働活動の推進について議論をしていくとスムーズに進められるのではないかと考える。
- 議長：地域学校協働活動についてさらに模索するといった方向は、他の委員と同じ意見を持っている。仮称であるが提言のテーマを「地域学校協働活動の推進に向けて～モデル校の実践検証を通して～」のように設定すると、様々な問題が包括されるのではないかと考える。
- 委員：モデル校での、現段階での取組や課題があったら説明願いたい。
- 委員：現在、給食の配膳や、校内の掲示などの活動を行っている。既に学校施設開放運営協議会等でサポーターをやられている方々を中心に、非常に協力的な方が多いが、コロナ禍の中でどこまで協力していただける方々を広げて良いのかなどの課題がある。また、先生方から、授業に関する専門的知識を有する方の紹介依頼を受けることがあるが、既に知られている方であるなど、学校に協力していただける方々の幅を広げるということについても考えなければならない。
- 委員：地域学校協働活動についての質問だが、学校から依頼があって人材を紹介しているのか、それともあらかじめ地域の人材を集めて学校に紹介しているのか。
- 事務局：方法としては両方考えられる。モデル校ではまずアンケートを行い、学校のニーズを調査しているところである。
- 委員：人材のデータベースは西東京市としてはあるのか。

○事務局：現在、人材のデータベースの構築はしていない。今後、構築していきたいと考える。

○委員：統括コーディネーターが地域学校協働活動推進員と一緒に地域情報を収集、あるいは情報の収集を呼びかけ、西東京市にどのような人材がいるのかを吸い上げる努力をしない限りなかなか人材情報は集まらないと考える。行政として方法を徹底してほしい。地域学校協働本部の下に活動があるので、保護者や地域住民、地域の企業、NPO法人等から情報を集める作業が大事である。社会教育委員のメンバーでそういった作業の力添えをしながら、人材のデータベース化の推進もできれば、なお良い。

○委員：テーマについては、地域学校協働活動の中の1つのテーマに決めるのではなく会議を進めていく中で地域学校協働活動に関する様々な視点を出して、最終的に総合的な深堀をしていくという方法もあり得ると考える。

○委員：「誰のために、何のために」という視点を大切にしながら地域学校協働活動について議論を進める必要がある。地域づくり、街づくりといった視点で提言を出せたらいいと考える。

○議長：たくさんのご意見を頂戴いたしましてありがとうございます。
少なくとも地域学校協働活動を深堀して視点を作っていく、来月にはテーマの決定へと進めていきたいので、皆さまにもお考えいただきたい。

議事（2）その他

次回会議について

10月22日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 第3会議室